

伊勢志摩国立公園へようこそ

伊勢志摩国立公園は、日本にある 34 の国立公園のひとつです。三重県中部に位置する志摩半島の大部分を範囲とし、約 55,000 ヘクタールの面積を有します。1946 年 11 月 20 日に国立公園の指定を受けたこの地域は、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢市を包含しています。伊勢志摩国立公園は大きく 2 つの地域に分けられます。山がちな内陸部には、天照大御神を祀る日本で最も格の高い神社、伊勢神宮と、それを取り囲む緑豊かな鎮守の森があります。島々が浮かぶ海岸部は、リアス海岸の複雑な地形と、養分の豊富な水域が生み出す生物多様性が特徴です。

日本の国立公園の多くと異なり、伊勢志摩国立公園の大部分は私有地です。人々は何世紀にもわたってここに住み、周囲の環境との強い結びつきを育んできました。古くから続くこの関係性は、伊勢志摩地域の慣習や文化の根幹をなしています。このことが最もよくみとれるのは、おそらく、公園のあちこちにある里山（山間の農村とその周辺的环境）や里海（海辺の漁村とそれをとりまく海）で営まれている持続可能性の高い生活様式でしょう。

伊勢志摩国立公園は、この地域の多様な景観、古来の文化と食の伝統、そしてこの地域に住む人々の独自の習慣と歴史に関心のある方を歓迎します。